

国際機関連携無償資金協力「選挙支援計画（UNDP 連携）」の交換公文署名式

2025年2月6日（金）、アディスアベバ市内のエチオピア選挙管理委員会（NEBE）事務所において柴田大使は、ドーUNDP エチオピア事務所長とともに、「選挙支援計画（UNDP 連携）」に係る交換公文の署名式に臨みました。

本計画は、日本国政府から UNDP を通じて NEBE に対し、約 4.7 億円（約 300 万米ドル）を資金供与し、エチオピア全土で 2026 年 6 月に実施が予定されている第 7 回総選挙に向け、NEBE の選挙実施能力強化や有権者による選挙プロセスへの包摂的な参加の促進を支援します。またエチオピア政府が今次選挙において積極的に進めている選挙プロセスのデジタル化にも貢献します。これにより、透明性と信頼性の高い選挙の実施を図り、エチオピアの民主化促進と、国内の平和と安定に寄与することが期待されています。

本式典において柴田大使は「日本は、自由・民主主義・法の支配等といった価値を重視しており、エチオピアにおいても、民主的選挙を遂行するために本支援を決定しました。残された 120 日の準備期間を含め、透明性が高く包摂的な選挙の実現に向け、日本政府は UNDP と連携して NEBE による選挙実施を支援していきます。関係者の皆様とコミュニケーションを緊密に図っていきたいと思います。」と述べました。

NEBE は本支援を歓迎し、2026 年総選挙に向けた準備を進める上で支援の重要性を指摘しました。

